

平成28年度釧路開発建設部事業費

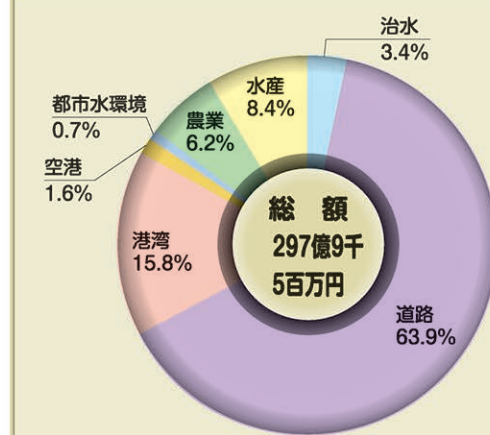
平成28年度 事業費総括表

事 項	平成28年度予算額
治 水	10億1千4百万円
道 路	190億3千9百万円
港 湾 整 備	47億1千6百万円
空 港 整 備	4億8千万円
都 市 水 環 境 整 備	2億4百万円
農 業 農 村 整 備	18億3千4百万円
水 産 基 盤 整 備	25億7百万円
合 計	297億9千5百万円

注)1.農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。

2.四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

事業別の構成



四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

管内の概況

位置・気候

管内は、北海道の最東端に位置します。南部は太平洋に、北部は千島火山帯に属する阿寒・知床連峰に、西部は白糠丘陵に囲まれ、東部はオホーツク海に面しており、台地や丘陵が広く開けた地域です。また、自然の宝庫として阿寒、世界自然遺産に登録された知床の両国立公園を始め、広大な釧路湿原国立公園を擁していることでも知られています。

釧路市など沿岸部では、春から夏にかけて海流や気圧の影響により海霧が発生し、冷涼多湿の日が多くなります。反面、秋から冬にかけては、大陸性高気圧の影響により晴天の日が続きます。日照時間が多くなり、降水量も少なく乾燥した日が多くなります。

面積・人口

管内は、2市10町1村からなり、その面積は釧路総合振興局管内5,997.50 km²、根室振興局管内8,500.37 km²合わせて14,497.87 km²で、全道面積83,424.31 km²の17.4%を占めています。(平成27年全国都道府県市区町村別面積調)平成27年12月31日現在の人口は31万7千人(釧路総合振興局管内23万9千人、根室振興局管内7万8千人)で、全道人口540万1千人の5.9%を占めています。また人口密度は、市部109人/km²、郡部9人/km²となっています。(平成27年12月31日住基ネットにおける人口【参考値】)

産 業

農 業

管内の農業は、夏季の気候が涼爽湿潤であることや、低湿地、火山性土に覆われた土地条件などから乳牛等を主体とした酪農経営を中心に発展してきており、耕地面積は20万 ha となっています。(平成27年農林水産省作物統計調査)

平成26年の乳用牛の飼養状況を見ると、飼養戸数2,250戸、飼養頭数29万6千頭、一戸当たりの平均飼養頭数は131頭で、全道平均の120頭を上回っています。(総合振興局・振興局別家畜飼養戸数・頭数)また、平成25年度の生乳生産量も131万9千tで、全道生乳生産量384万9千tの34.3%を占めており、全道有数の大規模酪農専業地帯を形成しています。(ホクレン調べ受託乳量)

林 業

管内の森林は、阿寒山系の白糠、阿寒及び弟子屈地域を中心に分布しており、平成27年の森林面積は56万2千haで、全道の森林面積554万1千haの10.1%を占めています。

樹種は、主としてトドマツ、カラマツ、アカエゾマツ等の針葉樹と、カンバ、ナラ、シナノキ等の広葉樹から形成されています。また、これを所有別にみると、国有林29万3千haの52.1%が最も多く、次いで私有林19万1千haの34.0%、公有林7万8千haの13.9%となり、平成27年の森林総蓄積7,726万3千m³は全道の10.0%を占めています。(平成26年度北海道林業統計)

水 産 業

管内の水産業は、北洋漁場に近い上、暖流と寒流が交わる好漁場が沖合いにあるため、釧路港、根室港を中心に全国的にも有数の水産物供給基地として重要な役割を果たしています。主要魚種は、サンマ、スケトウダラ、サケ等の回遊性の多獲魚が多く、また、沿岸漁業では「とる漁業から育てる漁業」への転換を目指し、栽培漁業の振興が進められてきています。

平成26年の管内漁獲量は35万2千tであり、全道の漁獲量119万6千tの29.4%を占めています。(平成26年北海道水産現勢)

商 工 業

管内の工業は、水産、畜産資源を背景にした食料品製造業が中心で、パルプ・紙製造業も盛んです。

工業の平成26年の管内事業所数は469で、全道5,429の8.6%、製造品出荷額は5,372億6千6百万円で、全道6兆6,313億9千8百万円の8.1%を占めています。(平成26年工業統計速報)

また、商業の平成26年の管内事業所数は3,099で、全道42,769の7.2%、年間販売額は8,810億6千9百万円で、全道16兆4,552億2千7百万円の5.4%を占めています。(平成26年商業統計確報)

観 光

管内は、世界自然遺産に登録された知床をはじめ、阿寒、釧路湿原の三つの国立公園を有し、更に、野付風蓮、厚岸、斜里岳の三つの道立自然公園があるなど、風光明媚で自然豊かな観光資源に恵まれています。

平成21年度に知床が、平成22年度に釧路湿原・阿寒・摩周エリアが観光庁の観光圏に認定されました。また、平成27年度には、観光庁により、釧路湿原・阿寒・摩周エリアが新観光圏「水のカムイ観光圏」に、釧路・根室管内に上川、十勝、オホーツク管内を含めたエリアが「広域観光周遊ルート」に認定され、更に、釧路市が「観光立国ショーケース」のモデル都市に選ばれるなど、外国人観光客を呼び込むための様々な取り組みが進められています。

平成26年度の管内観光客入り込み数は854万人で、全道の1億3,343万人の6.4%を占めています。(平成26年度北海道観光入込客数報告書)